

## 鬼は外～！福は内～！

### 節分！鬼を追い払おう！！

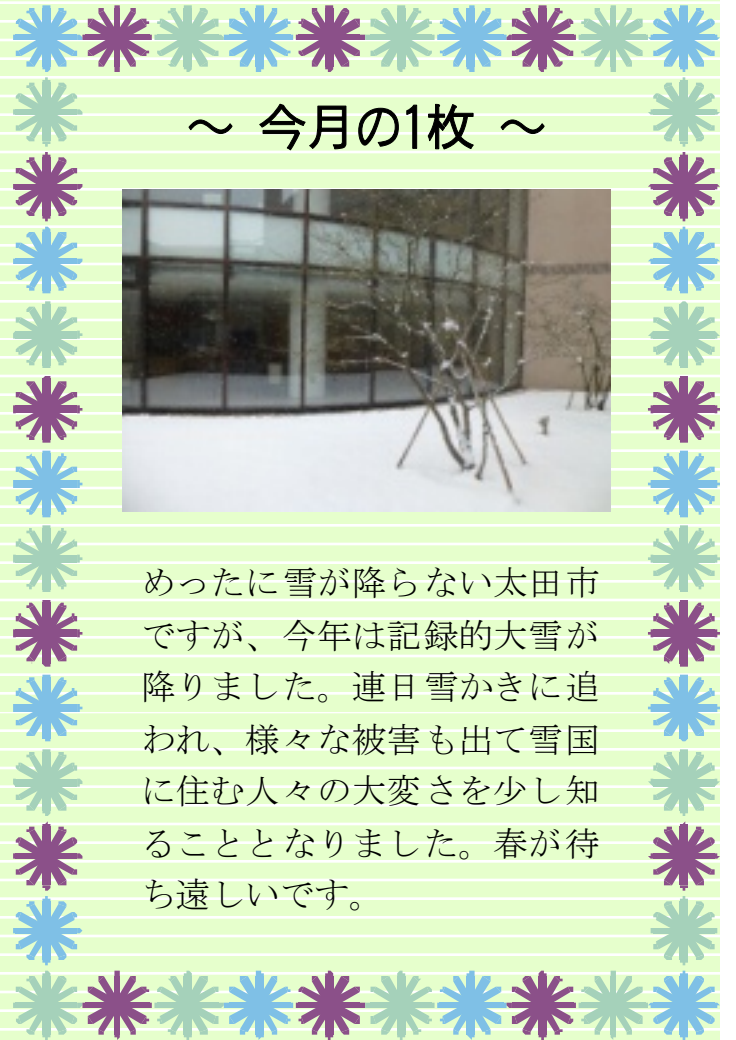


2月3日、今年もやってきました、ラッパーズ太田の恒例行事。節分は昔から慣れ親しんだ伝統的な季節の行事です。「まめ」な動きが健康の秘訣というところで、節分では豆をまくようになったという説もありますが、今年は「玉入れの玉」を大きな豆に見立てて、入居者の皆

様に投げさせていただきました。

普段は温和な入居者様も、今日ばかりは真剣な顔で鬼に扮した職員に豆を投げ、大喜びでした。「鬼の格好が良く似合ってたよ」「また来年もやってね」と皆様に喜んでいただき、今年の豆まきも、無事大成功で終える事が出来ました。

邪鬼を払い、厄を落とし、今年一年を健康で幸せに過ごせますようお願いを込めて！そしてまた来年も、楽しい節分を迎えられたら良いなと思います。(T.M)



### ～ 今月の1枚 ～



めったに雪が降らない太田市ですが、今年は記録的大雪が降りました。連日雪かきに追われ、様々な被害も出て雪国に住む人々の大変さを少し知ることとなりました。春が待ち遠しいです。

## ひなまつり

「知らざりし大海の原に流れ来てひとかたにやはものは悲しき」これは、源氏物語の「須磨」で光源氏がお祓いのために船に人形を乗せて流し、それを見つめながら自分の身の上を詠んだ歌です。

古来中国では、上巳の日（じょうしのひ。三月の巳の日のこと）に川で身を清め不浄を祓う習慣がありました。この風習が平安時代頃日本に伝来し、紙製の小さなヒトガタを作って川や海に流すことで厄災を祓う行事として広まり



ました。これが日本のひなまつりの原型であったと言われています。

現在では華やかで楽しいお祝いの日ですが、もとはお祓いの行事だったのです。この上巳の節句が江戸時代になると、徳川幕府によって「五節句」のひとつに定められ、「人日の節句」「端午の節句」「七夕の節句」「重陽の節句」と並ぶ重要な年中行事となりました。もとは男女の区別なく行われていた行事ですが、端午の節句が男の子の節句として祝われるようになったことに対して、上巳の節句が女の子の節句として定着してゆきました。



人形技術の発達とともに、流すヒトガタから飾る人形へと変わってゆき、豪華なものが好まれるようになったそうです。女の子が生まれるとその子の形代（かたしろ）と考えて飾り、「災いがふりかかりませんように…また、よい結婚に恵まれて幸福を得られますように」と願いをこめてお祝いするようになりました。

いつの時代も健康で幸せに暮らしたいという思いは同じ。まして自分の子供には、どうか難なく幸せな一生を送って欲しいと願うのは親なら

誰もが思うことでしょう。いくつになっても、美しい雛人形の柔らかな微笑みを見つめると暖かい気持ちになるのは、親がいつも自分の幸せを願っていてくれたこと…自分の娘が生まれ、どうか幸せになって欲しいと思いながら大切に育ててきたことを思い出すからかもしれませんね。



## マイベスト～私の○○～！

私がジョギングをしている事は、昨年11月号のラッパーズ便りでも紹介させていただきました。現在も、週3・4日のペースでジョギングを続けています。

といっても、今年の1月下旬、インフルエンザにかかり、2週間ほど休んでしまいました。一昨年の10月からジョギングを始め、今ではすっかり習慣化しています。いつも仕事の帰りに走っています。走ら



なかった日は、罪悪感というか、何となく変な気持ちになります。雨でも降っていても降っていても別ですが…。(堂々と休めるといった感じ。)

走れる距離がだんだん伸びていくのが楽しみで、達成感があります。始めは1周しか走れなかったのが、2周、3周と増え、現在、8km程走れるようになりました。今年、マラソン大会10kmの部出場を目標に頑張ります。(Y.K)

## 今月のおすすめ！

私のおすすめは「ぬか漬け」です。何年か前から漬けてみたいと思っていたのですが、3日坊主の私に続けられるか不安だった為、手を出せずにいました。今回結婚を機に「素敵な奥様」になる為には漬けものくらい漬けられるようにならなければ！と決意しました。まずは、大根と人参を漬けました。意外にも白菜が美味しくできました。旦那さんにも大好評です。(M.T)



## スタッフより一言

我が家の孫は1670gと小さく生まれましたが、元気に育って4才になりました。例えようのない可愛さです。最近、週末にお泊りに来るようになりました。泣かないようにと遊び、遊ばれます。お迎えが来てもなかなか帰ろうとせず、「帰らないもっとじいじいとばあばあと遊ぶ！」としがみつき「悲しい」と泣かれた時は、抱きしめて泣いてしまいました。本当に孫って可愛いものですね。これからの成長が楽しみです。(M.M)



## フォトアルバム2月

ラッパーズ太田の行事や日常風景を写真にまとめました。

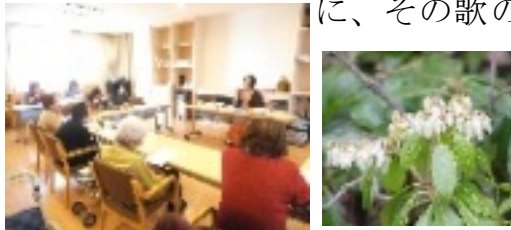
### 「寿司バイキング」

入居者様も職員からも大好評、寿司バイキング！今回ご用意したネタは、「マグロ・いくら・ほたて・甘海老・サーモン・マグロたたき」です。柔らかめのシャリで食べやすく、たくさんおかわりしていただきました。小さなてまり寿司はお花の形に盛り付けました。可愛らしく、食欲も増しますね。巻物も大人気！食べ過ぎてしまいます。



### 「地域交流事業～万葉集を楽しむ会」

今月の地域交流事業は作家で、経営コンサルタントでもある「あいざいやゆう」先生をお招きして、「あいざいやゆうと万葉集を楽しむ会」を開催しました。先生の「万葉集を楽しむ会」は、各地で開催されており、受講生は合計160名にもものぼる大人気セミナーです。万葉集を草花の観点から詠み、その時の思いや願いを感じ取るという先生のセミナー。今回は「馬酔木（あしび）」を詠んだ句をもとに、その歌の背景を分かりやすく解説していただきました。参加者の皆様も、とても熱心に聞いており「分かりやすく楽しかった。」と好評でした。



### 「麻雀クラブ」



水曜日の午後に「麻雀クラブ」を開催しています。週を追うごとに新しいメンバーが増え、毎回、真剣勝負が繰り広げられています！

### 「雪だるま」



二階屋上庭園に積もった雪で、入居者様と一緒に大きな雪だるまを作りました。なかなかの出来栄え！これはもはや芸術作品ですね！

### 「恵方巻き」



節分のお昼ご飯は恵方巻！煮アナゴ、さくらでんぶ、厚焼き玉子、菜の花、かにかま、煮椎茸を海苔の代わりに錦糸玉子で巻きました。食べ応えたっぷりです！

### 「みんなでお茶会」



一階のカウンターで、いろんな階の入居者様達と一緒にコーヒーを飲まれている風景です。一人で飲むより皆さんと一緒に飲む方が美味しく、楽しいですね。

**【四方山話】** ▼粋な姿で町並み歩き、町民たちの身近で過ごす。大岡越前と並ぶ時代劇の人気者。遊び人は仮の姿、悪人がいればすぐ参上。「この桜吹雪が目に入らぬか」で有名な、遠山の金さんこと遠山景本（とおやまかげもと）が北町奉行に任命されたのが1840年の3月2日のこと。▼金さんといえば背中「桜」。英語でいえば「Cherry Blossom（チェリーブロッサム）」だが、近年では日本語から「sakurai」と呼ばれることも増えているそう。日本人にとって特別な存在である桜。それを慈しむ心が、世界からも美しいと認められているようだ。▼3月末から4月にかけて満開となる桜はちょうど年度始めということもあり、人生の転機を彩ってくれる。卒業式、入学式、入社式。新たなスタートを切る時、満開の桜がそっと背中を押してくれるはず。

### ☆3月の予定☆

- 3日（月）ひなまつり
  - 20日（木）お彼岸メニュー
  - 26日（水）地域交流事業
- （キラウエア観奈子のハワイアンヨガ）



### 文芸コーナー

「初雪や これが砂糖なら 嬉しいな」  
幼き故友を 偲ぶ大雪  
E・Y

大雪に とじこめられし せきれいは  
窓辺に近き 黒土を採す  
E・Y

**【編集後記】** 先月は関東地方にも大雪が降り、交通機関や食料流通に大きな影響がありました。東京では45年ぶりの大雪だったそうです。実家では従業員が集合しており、材料置き場や家の雪かきに苦戦していました。私も手伝いましたが、体力のなさを痛感してしまい、しばらく体のあちこちが痛かったです。下旬には桜が咲き始める頃ですね。埼玉県の花見スポットでは幸手市にある「権現堂」をおすすめします。夜桜が魅力的で大好きな場所です。ぜひ行ってみてください。

（中村工業）

